

○植物採集覽書（其ノ一）（奥山春季）

植物採集地トシテ有名ナ地域ニツイテ、植物學雜誌ガ發刊サレタ明治20年代ニ溯リ、先ヅ如何ナル植物ガ其處デ發見記載サレタカヲ知ル爲ノ原産植物ノ項ト、主ナル所産植物ノ名稱ヲ列擧シタ植物ノ項及ビ採集記録ヤ植物目錄等ヲ集録シタ文獻ノ三項目ニ分チ、取廻メタモノデ、植物地理學上參考資料トシテ又採集便覽トシテ利用シテ頂ケレバ編者ノ喜ビコレニ過ギルモノハナイ。

1. 原産植物ト文獻ノ項ハ年代順ニ植物ノ項ハ概ネ自然分類順ニ排列シタ。

1. 植物ノ項ニ列擧シタ名稱ハ重出ヲサケ、原産植物ノ部ニ擧ゲタモノハ除イテアル。文獻ハ信用出來ルト思ハレルモノヲ参照シタガ、東京科學博物館腊葉庫所藏ノ標品及ビ自分ノ採集記録ヲ活用シ、アヤシイ者ハ除外シ、一部ハソノ出典ヲ明記シテ置イタ。

1. 文獻ノ項ノ〔 〕ノ中ハ編者ガ補足シタ部分デ“ ”ハ副題或ハ論文中ノ小見出ヲ示シ、單行本ハ「 」デ括ツタ。卷ハゴシック、號ハ並活字、；ノ次ハ頁ヲ表ス。

1. 刊行物ノ名稱ハ適宜省略シタガ別ニ略稱文獻索引トシテ登載ノ豫定デアル。

本篇ノ成ルハヒトヘニク内清孝氏ノ懇懇ト御助言ニヨルモノデアル事ヲ此處ニ記シ、深甚ナル感謝ノ意ヲ表スル次第デアル。（昭和19年6月10日記）

東 京 都

○道 灌 山（歴史的採集地）

“東京なる道灌山は、誰人も知る如く、上野、日暮里より飛鳥山、王子へ連れる、一里に足らぬ丘陵なり。遠く望めば翠黛の如く、緑樹鬱蒼として四季の眺めも様々なれば、みやこ人は言ふも更なり、ひなの童らまでも其名さへ聞き知れる勝地なるが、そが上にも、こもれる木立の裡には千々の草花、春秋に咲き亂れ、清水の湧き出づる岩が根には、苔むし羊齒しげり、奇しき菌草さへ數多主へ出づれば、植物の學に志す人々には、實に一座の樂境なり”（植物學雜誌 第3卷、明治22年）

原産植物 たにへご *Aspidium tokyoense* MATSUMURA 植維12; 87 (明31)

道灌草ト言フ植物ガ稀ニ栽培サレテ居ルガ本草圖譜ニヨレバ“古ヘ江戸道灌山に藥園ありて此種たまたま主ずることあり因て道灌草と名く”トアル。

所産植物（文獻及ビ當時採集サレタ標品ニヨル）（羊）おほはなわらび、なつのはなわらび、わらび、たうげしば。（單）いぬあは、さいとうがや、ひめいちごつなぎ、うしくぐ、にら、あまふ、うばゆり、やぶくわんざう、やまゆり、さるとりいばら、おにどころ、かへでどころ、くまがえさう。（離）くましで、こなら、たちやなぎ、かつら、にりんさう、やまとりかぶと、みやまはこべ、いぬしようま、いかりさう、じろぼうえんごさく、むらさきけまん、やぶつるあづき、たかとうだい、なつとうだい、つりふねさう、

ともえさう。(合)かはみどり, おほひのうすつぼ, こしほがま, はぐろさう, やぶむぐら, あきのははこぐさ。

文 獻 [松村任三]:「帝國大學, 理科大學植物標本目錄」1-287 (明 19) 筆者不明: “道灌山〔ノ植物〕(東京近郊植物採集地) 植雜 2; 89 (明 22) み, ま: 東京道灌山の植物, 植雜 3; 185 (明 22) 日本博物學同志會回顧の會 採集と飼育 3; 88 (昭 16) 中井猛之進: 同上正誤 3; 166 (昭 16)

○池上本門寺

所産植物 (記録=ヨル) いはとらのを, こがねわらび, まめづた, ひかげすげ, がうそ, ほんもんじすげ (地名=因ム), しやが, えびね。

文 獻 筆者不明: “池上本門寺〔ノ植物〕” 植雜 2; 90 (明 21)

○浮間原

植物 (單) たちかもじぐさ, さやぬかぐさ, あさますげ, はたべすげ *Carex latissquamea* Kom., まひづるてんなんしやう, あまな, ひめあまな。(離) ひきのかさ, やまゑんどさく, こめつづめくさ (歸化), のうるし, たちすみれ, ひかげすみれ。(合) さくらさう, つるかこさう, ごまのはぐさ, おほまるぼのほろし, おほたうこぎ (歸化), まあざみ。

文 獻 岸田松若: タチスミレの一產地, 東臺植誌, 8; 11 (昭 6) 岸田松若: マヒヅルテンナンセウ浮間に産す, 同上 8; 12-13 (昭 6) 奥山春季: 浮間原の舞鶴天南星を弔ふ, 自科博 6-8; 11 (昭 10)

○志村原・戸田原

原産植物 多きさいぜり *Apodicarpum Ikenoi* MAKINO 植志圖 1-10; 1. pl. 58 (明 24) 戸田原 あづまおもだか *Sagittaria trifolia* var. *typica* f. *heterophylla* MAKINO 植研 1; 37 (大 7) 志村, しろばなたかあざみ *Cirsium pendulum* var. *albiflorum* MAKINO 植研 3; 42 (昭 2), ひめあまな *Gagea nipponensis* MAKINO 植研 3; 48 (昭 2) 志村

植物 (單) とだしぼ (地名=因ム), うばゆり, ひめあまな, あまな, みづちどり。(離) はんげしやう, のだいわう, おきなくさ, にりんさう, のからまつ, ひきのかさ, こきんぱうげ, やまぶきさう, じろぼうゑんどさく, ひめへびいちご, をへびいちご, れんりさう, のうるし, くらうめもどき, しむらにんじん (地名=因ム)。(合) ちやうじさう, ゆきみさう, おほひのうすつぼ, ごまき, つるにんじん, たかさごさう。

文 獻 筆者不明: “戸田ノ原〔ノ植物〕” 植雜 2; 89 (明 21) まき, と: しむらにんじんノ產地 植雜 4; 236 (明 23) 寺崎留吉: 戸田原, 植雜 4; 429-430 (明 23) T. N. 生: 戸田ノ原ヲ訪フ, 植雜 19; 113-115 (明 38) 篠崎信四郎: 東京植物同好會 四月例會ノ記, 植研 6; 188-192 (昭 4)

○大箕谷八幡

原産植物 かこまはぐま *Pertya hybrida* MAKINO 植雑 20; 28 (明 39)

植 物 (記録及ビ標品ニヨル) かたくり, ゑびね, きんらん, ぎんらん, わださう, たかとうだい, いちやくさう, うめがささう, ぎんりやうさう, きからすうり, やぶれがさ, かしはばはぐま, たかをひごたい。

文 獻 筆者不明: “大箕谷八幡森〔ノ植物〕” 植雑 2; 89 (明 21)

○井ノ頭

植 物 しづみ, ひとりしづか, うまのあしがた, いかりさう, たぬきまめ, みつがしは (本草圖譜), るりさう, しほがまぎく, じふにひとへ, あきのははこぐさ, りうなうぎく。

文 獻 筆者不明: “井ノ頭〔ノ植物〕” 植雑 2; 89-90 (明 21) 牧野富太郎: しづみ一タビ大ニ繁茂シ翌年ハ忽然消エテ痕ナシ。植研 3; 200 (大 15) 筆者不明: 井ノ頭恩賜公園池水草種類一覽, 植趣 7-2; 86 (昭 13)

○石神井 (三寶寺池)

三寶寺池沼澤植物群落ハ天然紀念物トシテ文部省ヨリ指定保護サレテキル。

植 物 こがま, ぬまがや, こまつかさすき, しろいぬのひげ, みちのくはりすげ, やのねぐさ, じゆんさい, ひつじぐさ, みづおとぎり, みそはぎ, みつがしは, しやくじみたぬきも, こしきぶ, ひめなみき。

文 獻 松平齋: 東京近郊新採集地, 植雑 7; 360-361 (明 26) 岸田松若: せんだいたいげき, 東臺植誌 3; 21-22 (昭 4) 岡山重幸: コシキブの一產地, 東臺植誌 7; 47 (昭 6) 三好學: “三寶寺池の沼澤植物群落” 天紀 15; 62-64 (昭 10) 加藤正世: [石神井公園の] 水中及び水邊の植物, 昆蟲界 9; 522-525 (昭 16) [中島定雄]: 「武藏野の植物」 1-126 (昭 12)

高尾山

原産植物 やぐるまかへで *Acer pictum* var. *dissectum* subvar. *subtrifidum* MAKINO 植雑 18; 114 (明 37) しろみのあをき *Aucuba japonica* var. *leucocarpa* MATSUM. et NAKAI 植雑 22; 152 (明 41) たかをひごたい *Saussurea sinuata* forma *japonica* NAKAI 植雑 23; 192 (明 42) きらんにしきごろも *Ajuga bastard* MAKINO 植雑 26; 175 (明 45) あかこみやますみれ *Viola Maximowicziana* forma *rubescens* MAKINO 植雑 26; 151 (明 45) やまみぞそば *Polygonum Thunbergii* var. *oreophilum* MAKINO 植雑 27; 251 (大 2) れもんゑごま *Perilla ocimoides* var. *typica* f. *citriodora* MAKINO 植雑 28; 180 (大 3) とらのをじそ *Ferula hirtella* NAKAI 植雑 31; 286 (大 6) しろばなおほぼじやのひげ *Ophiopogon Wallichianus* var. *leucanthus* MAKINO 植研 2; 12 (大正 8) おほつくばねがし *Quercus takaoyamensis* MAKINO 植研 2; 13 (大 9) したきつるうめもどき *Celastrus articulatus* var. *stephanotiiifolia* MAKINO 植研 3; 24 (大 15) ほしざきいな

もりさう *Pseudopyxis depressa* var. *angustiloba* MAKINO 植研 3 ; 24 (大 15).
ふいりいなもりさう *P. d.* var. *variegata* MAKINO 同上 (大 15) みやまくまざさ
Sasa Hayatae MAKINO 植研 3 ; 16 (大 15) たかをほほづき *Physaliastrum Ki-*
murai MAKINO 植研 3 ; 37 (昭 2) たかをほろし *Solanum takaoyamense* MAKI-
NO 植研 3 ; 38 (昭 2) たかをすみれ *Viola yessoensis* var. *discolor* NAKAI 植維
42 ; 558 (昭 3) たかをしけちしだ *Cornopteris musashiensis* NAKAI 植維 44 ; 8
(昭 5) うすげぬすびとはぎ *Desmodium podocarpum* var. *glabrius* NAKAI 植維
44 ; 36 (昭 5) たかをすげ *Carex musashiensis* OHWI Cyp. Jap. I ; 512 (昭 11)
ながほはなたで *Persicaria Yokusaiana* var. *laxiflora* HARA 植研 17 ; 338 (昭 16)

植 物 (羊)あをほらごけ, はひほらごけ, いはとらのを, おほひめわらび, く
ものすしだ, きよたきしだ, きよすみひめわらび, ほそばのいたちしだ, はくまうゐの
で, あすかるので, かたゐので, つやなしゐので, きよすみしだ, おほかなわらび, は
かたしだ。(單)くまがゑさう, さいはいらん, こあつもり, くもらん, むぎらん, べに
かやらん, きくばどころ, やまぢのほととぎす。(離)うらじろがし, つくばねがし, あ
かがし, あらかし, はるにれ, たまのかんあふひ, かごのき, ひめうづ, まるばこんろ
んさう, ゆりわさび, おほやまはこべ (本草圖譜), みやまたにわたし, ふぢき, まる
ばまんねんぐさ, かちかへで, めぐすりのき, うらじろまたたび。(合)みつばつじ,
きじよらん, たちがしは, ふなばらさう, むらさき, おにるりさう, かめばひきおこし,
たにじやかうさう, はんくわいあざみ (本草圖譜) みぞほほづき, きよすみうつぽ, や
まうつぽ, いはたばこ, なべな, つるぎきやう, あづまやまあざみ, もりあざみ, てば
こもみぢがさ, ふくわうさう, しうぶんさう, たうひれん。

文 獻 松村任三: 武州森林植物録ノ爲メ 植維 3 ; 223—225 (明 22) 池野成一
郎: 高尾山の草木植物 植維 4 ; 303—306 (明 23) 松村任三: 武州高尾山〔ノ植物〕「植
物採集便覽」136—140 (明 33) 河田黙: 春ノ高尾, 博友 4 ; 73—77 (明 37) 武田久
吉: 秋ノ高尾山, 博友 4 ; 127—131 (明 37) 吉田貞雄: 武州高尾山植物採集旅行記,
理學界 3—1 ; 48—52 (明 38) 河田〔黙〕: 四月上旬の高尾山, 博友 5 ; 103—104 (明 38)
今藏熊太郎: 武州高尾山の植物, 史蹟天紀 2 ; 673—684, 788—800 (昭 2) 木村康一:
つるぎきやうガ高尾山ニアル 植研 5 ; 160—162 (昭 3) 高尾山のすみれ, 東臺植誌 3 ;
16—19 (昭 4) 久内清孝: “てばこもみぢがさ” 植研 6 ; 225—226 (昭 4) 石田〔西
一〕: “武州高尾山〔採集記〕” 東臺植誌 8 ; 79—83 (昭 6) 〔常谷幸雄〕: 武州高尾山植
物目録 (I) 農友 59 ; 1—25 (昭 7) (II) 60 ; 1—9 (昭 7) 久内清孝: “くものすしだ
高尾ニアル” 植研 8 ; 462 (昭 8) 〔常谷幸雄〕: 「武州高尾山の植物」(東京府緑地計畫
調査彙報, 第七號) 1—130 (昭 11) 小熊素泉: 裏高尾の植物, 採飼 4 ; 297 (昭 17)

○城 山

原産植物 おんがたひごたい *Saussurea Satowi* KITAMURA 植分 5 ; 34 (昭 11)

ほそばたちかもじくさ *Agropyron japonense* var. *macilentum* HONDA 植雑 50 ; 571 (昭 11)

植 物 (羊) さじらん, さいこくべにしだ, まるばべにしだ, おほべにしだ, さいごくゐので, ゐのでもどき, かたゐので, みどりわらび, おほぼのはちちやうしだ, こしだ。(離) つくばねがし, まつぐみ, うらじろまたたび, おほつるうめもどき, (合) きじよらん, たかをひごたい, たうひれん。(單) ひめてんま。

文 献 吉田昌美: 武州城山採集自誌より 農大植誌 3 ; 30-36 (昭 10) 佐藤達夫: 武蔵國元八王子城山及其の附近の羊齒植物目録, 野草 5-2 ; 1-4 (昭 14)

○刈 寄 山

原産植物 あをゑだうちねばりたで *Persicaria viscofera* var. *viridescens* NAKAI 植雑 44 ; 520 (昭 5) しろばなひよどりじやうご *Solanum lyratum* var. *leucanthum* NAKAI 同 533 (昭 5) むらさきやましろぎく *Aster leiophyllus* var. *purpurascens* HONDA 植雑 44 ; 668 (昭 5) おほうつぎ *Deutzia crenata* var. *major* NAKAI 植雑 45 ; 118 (昭 6) びらうどうつぎ *Diervilla sanguinea* var. *Nakaii* MAKINO 植研 7 ; 17 (昭 6) にしきびらうどうつぎ *D. s.* var. *versicolor* MAKINO 同上 (昭 6) ゑだうちちごゆり *Disporum smilacinum* var. *ramosum* NAKAI 植雑 45 ; 107 (昭 6) みみがたてなんんしやう *Arisaema limbatum* NAKAI et F. MAEKAWA 植雑 46 ; 562 (昭 7) よごれねこのめ *Chrysosplenium macrostemon* var. *atrandroidrum* HARA 植研 9 ; 126 (昭 8) かりよせざさ *Sasa kariyosensis* NAKAI 植研 10 ; 565 (昭 9) ふいりちごゆり *Disporum smilacinum* var. *variegatum* NAKAI 植研 17 ; 503 (昭 16)

植 物 (羊) おほめしだ, つやなしゐので, しけちしだ, いはへご, おくたまぜんまい, やしやぜんまい。(單) おほたまつりすげ, やまおほいとすげ, ひとつばてなんんしやう, すてこびる(離) うめうつぎ, こみやますみれ, ひごすみれ, たかをすみれ, まきのすみれ, のちすみれ, うしたきさう。(合) あふぎかづら, いなもりさう, おほひなのうすつぽ, おほがんくびさう。

文 献 久内清孝: “刈寄山の草や木” アミーバ 2-1 ; 9 (昭 5) 同: “うめうつぎノ分布” 植研 8 ; 320. (昭 7) 高橋保平: 刈寄山採集記, 野草 3 ; 78-79 (昭 12)

○高 水 山

植 物 (羊) かうやこけしのふ, ほそばこけしのふ, きよたきしだ, せいたかしけしだ, おほひろばのいぬわらび, いはとらのを。(單) かうやざさ, あづますげ, やまおほいとすげ, つくばねさう, かたくり, こあつもり, じんばいさう, ひとつぼくろ。(離) かんあふひ, とうごくさばのを, れんげしやうま, ゐゐあふぼたん. こちやるめるさう, はなねこのめさう, みやまたにわたし, につくわうしらはぎ, まきのすみれ, みやまちどめ。(合) ほつムじ, いがほムづき, やまほたるぶくろ, はばやまぼくち, たかをひご

たい。

文 獻 東京科學博物館植物學部：高水三山採集植物目錄，自科博5—3；1—8 (昭9)

○御 嶽 山

原産植物 みたけうづ *Aconitum mitakense* NAKAI 植雜 34；41 (犬9) やまおほいとすげ *Carex olivorum* OHWI, FEDDE, Rep. 36；42 (昭9) あをしそばたつなみ *Scutellaria laeteviolacea* f. *concolor* HONDA 植雜 51；57 (昭12) みたけのいばら *Rosa polyantha* var. *glabrescens* HONDA 植雜 51；643 (昭12) ほそばのみつばうつぎ *Staphylea Bumalda* var. *stenophylla* HONDA 同上 (昭12)

植 物 (羊)ときはしだ、たにいぬわらび、いはひめわらび、ならゐしだ。(單)かやらん、すずむしさう、むゑふらん、あをふたぼらん、こあつもり、しそばなゑんれいさう、かりやすもどき。(離)つくばねがし、おほやまはこべ、わちがひさう、しなせんになさう、とうごくさばのを、せりばくさのわう、みつばこんろんさう、まるばこんろんさう、あけぼのすみれ、ゑぞすみれ。(合)ひめいはかがみ(本草圖譜)いはなんてん、あぶらつゝじ、とうごくみつばつゝじ、みつばつゝじ、まるばのいちやくさう、ふなばらさう、むらさき、あふぎかづら、らしやうもんかづら、かめばひきおこじ、はしりどころ、きぬたさう、れんぶくさう、たうひれん、おほもみちがさ。

文 獻 同行坊：御嶽山紀行，植雜 11；273—278 (明30) 松村任三：武州御嶽山〔ノ植物〕「植物採集便覽」110—115 (明33) 東光太郎：御嶽山採集紀行，博友4；65—66 (明37) 長澤光男：奥多摩御嶽附近の蘭科植物，雜草2；23 (昭11) 高橋保平：奥多摩の採集，野草2—7；13—14 (昭11) 牧野晩成：五日市，御嶽山採集記，野草5—1；65 (昭14)

○日 原

原産植物 おくたましだ *Asplenium calcicola* H. Ito「東亞植物圖説」2—1；pl. 46 (昭12)

植 物 (羊)いてふしだ、きんまうわらび、くものすしだ、ししらん、ときはしだ、こばのひのきしだ、ほていしだ、ならゐしだ、みやまいたちしだ、いはうらじろ。(單)いはぜきしやう、まるばさんきらい(離)めうぎからまつ、みやまいらくさ、ゑぞはたざほ、うめうつぎ、あまぎこあぢさゐ、ひとつばゑぞすみれ、ひなすみれ、のだけもどき。(合)はやざきへうたんぼく、ちちぶどうだん、さつきひなのうすつほ。

文 獻 筆者不明：めやぶそてつノ新産地，博友3—19；32 (明36) 武田久吉：秋ノ日原，博友5；329—333 (明38) 檜山庫三：あまぎこあぢさゐ奥多摩ニ産ス，植研10；391—392 (昭9) 同：よこぐらのき，植研10；803 (昭10) 長澤〔光男〕：日原採集記，野草2—8；15—16 (昭11) —ツヅク—